

# その症状、パーキンソン病に伴う“ウェアリングオフ”かもしれません。 ウェアリングオフ チェックシート

監修：坪井 義夫先生 福岡大学医学部 脳神経内科学 教授

ウェアリングオフの出現に早期に気づき、医師に伝えることは、適切なパーキンソン病治療を受けていくためにとても大切です。下記の症状が1日1回でも起きていないかチェックしましょう。また、パーキンソン病の治療薬を飲んだ後の症状の変化も確認しましょう。

ウェアリングオフの解説は裏面に

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 お名前 \_\_\_\_\_

## ● ステップ1、ステップ2の順にチェック していきましょう

ステップ2で「飲めば軽くなる」に1つでもチェックが付いた場合、ウェアリングオフが出現している可能性があります。ご記入後、必ず担当医にお見せ下さい。

パーキンソン病の症状		ステップ 1		ステップ 2	
		最近、1日の中でこれらの症状が		レボドパなど(パーキンソン病治療薬)を服用するとその症状は	
		ある		飲めば軽くなる	飲んでも変わらない
1	ふるえる	<input type="checkbox"/>	→ 「ある」に印が付いた場合は、ステップ2へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	動作が遅くなる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	気分が変化する または落ち込む	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	体のどこかがこわばる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	するどい痛みまたは長く続くにぶい痛み(鈍痛)がある	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	手先の細かい作業がうまくできない	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	思考がまとまらない または頭の回転が遅い	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	不安になるまたはパニック状態になる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	筋肉がひきつる	<input type="checkbox"/>		→	<input type="checkbox"/>

# パーキンソン病とウェアリングオフ

監修: 坪井 義夫先生 福岡大学医学部 脳神経内科学 教授

## ● ウェアリングオフの症状

オン

お薬が効いている状態



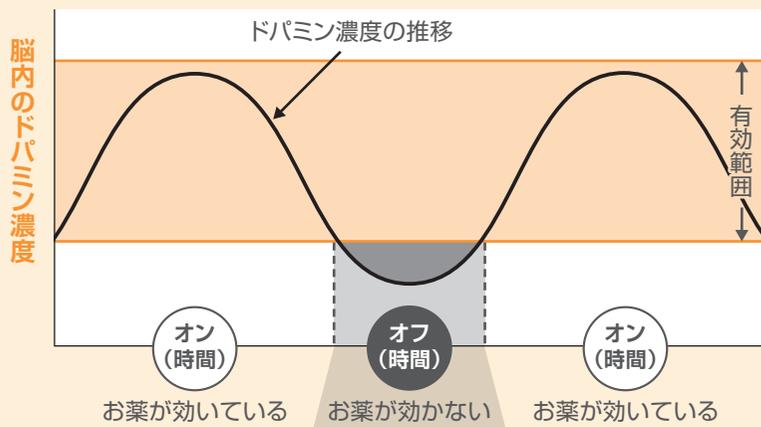
オフ

お薬の効果が切れた状態



ウェアリングオフとは、パーキンソン病治療薬のレボドパが効いている時間が短くなる現象で、1日の中で症状がよくなる時間帯や悪くなる時間帯が出てきます。レボドパの量や飲む回数を調節する、または他のお薬を追加すると改善することがあります。

(イメージ図)



お薬の効き方に1日の中で変動があるとき、お薬が効いている時間帯を「オン」、お薬が効かない時間帯を「オフ」といいます。

パーキンソン病の症状と進行を知るためのサイト

PID ネット

<https://pdnet.eisai.jp/>

PDネット



エーザイ株式会社

EQF1038BKA  
2023年4月作成